

快適性向上に向けた ATM 画面のリニューアルについて ～金融業界初の「使いやすさ検証済認証」取得～

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、当行 ATM をご利用されるお客さまの利便性向上を目的として、このたび、画面のリニューアルを実施いたしました。

ATM 画面のリニューアルに際しては、レイアウトや配色などにユニバーサルデザイン¹の要素を取り入れることで、「見やすさ」「わかりやすさ」「使いやすさ」に配慮した画面を目指しました。

1 改善または特殊化された設計なしで、最大限可能な限り、あらゆる人（障がい者や高齢者だけでなく、国籍・年齢・性別を問わない）にとって利用しやすい製品と環境のデザインのこと。

なお、リニューアル後の ATM 画面は、実利用者研究機構が認定する「使いやすさ検証済認証」を取得しており、利用者による検証を何度も重ねたプロセスが評価されました。

<リニューアル後の ATM 画面イメージ>



<変更のポイント>

- ユニバーサルデザインフォントを採用し、視認性を向上。
- 頻繁にご利用されるお取引とその他のお取引にメリハリをつけ、わかりやすい構成に変更。
- 文字とイラストで説明することにより、わかりやすさを追求。

< 使いやすさ検証済認証制度 >



中立な立場で、公平を第一に、使いやすさを検証し、真に一般の利用者にとって使いやすいと認められた製品・サービスのみが認証され、このマークが付与されます。

なお、みずほ銀行では、約 400 拠点のみずほ ATM コーナーのリニューアルも行いました。内装デザインを一新し、フロアサインや傘掛けを導入するなど、より快適にご利用いただけるよう取り組んでおります。

< ATM コーナーリニューアル例 >



整列誘導フロアサイン



傘掛け

当行は「サービス提供力 No.1」の実現に向け、引き続きお客さまに選ばれ続けるサービスを提供してまいります。